

虚子記念文学館投句特選句

・令和六年五月

稲畑廣太郎 選

薰風や朗報我に舞ひ込みし

新潟 安原 葉

青葉吸ひつゝ千の句碑長じけり

神奈川 進藤剛至

松落葉砂上に描く風の綾

兵庫 北井真有美

俳磚に大きな葉陰立夏かな

兵庫 辻田智子

相続の話聴きたる子供の日

群馬 木暮陶句郎

焼き上がる釉薬の青里若葉

兵庫 中村恵美

吐息ふと途絶え牡丹の彩崩る

大阪 杉山千恵子

廃線を覆ひつくして姫女苑

兵庫 武田優子

ファゴットのリードを削る花は葉に

愛媛 星月彩也華

誇らしく記す師系や風は初夏

和歌山 中島紀生

入選句・令和六年五月

青田波空へと続く青きかな	埼玉	小田和夫	磯鴨のさへづりよほら天辺に	東京	青木百舌鳥
みどりの日元気な声の島育ち	兵庫	森岡喜恵子	蜻蛉生るすぐに縄張競ひあふ	大阪	西尾浩子
左巻右巻談義ねぢり花	奈良	堀田ますみ	永久の平和を願ふ樟若葉	兵庫	河野ひろみ
野が唄ひ瀬音のハモる立夏かな	大阪	藤本公子	折紙の兜も並べ武具飾る	大阪	武田奈々 (青少年)
ゆるらかに傾ぐ夕日や春の海	兵庫	川村ひろみ	俳磚の藍の字なぞる若葉風	兵庫	涌羅由美
若葉して梳かるる風の綺麗さよ	兵庫	前田容宏	子供の日親子の旅は晴れ予報	兵庫	深尾真理子
日に風にねぢりねぢりて振り花	三重	松村咲子	新緑の木洩れ日やさし館の午後	兵庫	奥田好子
この場所はかつて学舎蝶の昼	石川	白根寿子	天守まで抜ける海風城若葉	香川	葛原由起
仮名書きのスコアボード子供の日	兵庫	上岡あきら	落ちゆけば風を孕みし滝しぶき	兵庫	山田佳乃
美しき日本の言葉文字摺草	兵庫	宮本露子	街薄暑虚子館までは歩かねば	京都	山崎貴子
ふらここの影の伸びたり縮んだり	奈良	河村久美子	風光る館の俳磚千枚に	香川	三宅久美子
日に風にひがな揺れゐる藤の房	兵庫	黒田千賀子	矢車の軋みゐる夜の独り言	鳥取	前田 千
八重一重みな葉桜に芦屋川	大阪	徳岡美祢子	飛んで来て居場所見つけてポピー咲く	徳島	多田まさ子
出航す立夏の風を満帆に	兵庫	山之口倫子	一本は淋しき花よポピー揺る	兵庫	高橋純子
子供の日農に勤しむ日々なれど	三重	中島庸子	波の綺麗つづく立夏の芦屋浜	兵庫	池田雅かず
子燕に登校の列止まりをり	大阪	ふじもと言果	軽暖の心に淡き色を著て	大阪	林 曜子
毛刈せし羊照れ臭さうにめえ	兵庫	小柴智子	宇治川の逆巻く流れ一番茶	兵庫	小杉伸一路
京を越え大津の浜に風薫る	兵庫	小川孝子	アイスコーヒーひとりでに回る時のあり	三重	水越晴子
母許の農仕に励み風五月	兵庫	高野さち	額の花合鍵ひとつ余りけり	大阪	押見げげば
もじずりのよぢれるほどの恋であり	三重	池本準一	葉桜や山気濃くなる吉野山	大阪	河辺さち子
磨崖仏へ常磐木落葉踏みしめて	兵庫	槌橋眞美	尊厳てふ言葉の重き花は葉に	大阪	須知香代子
さまになる太鼓叩く子供の日	奈良	山口廣世	大牡丹蕊に続べられ開きゆく	兵庫	池田文子
紫のうちけぶりつつ夏に入る	大阪	北上美佐子	又村を去りゆく一家葱坊主	京都	西村やすし
若楓雨の冥さを払ひけり	兵庫	吉村玲子	母の日の仏の母にすみれ草	兵庫	菊池信江
花吹雪風に音なき音の満ち	岡山	石井宏幸	洗い髪ご飯おかわり中華丼	滋賀	太田怒忘

母の日の虚子館講座みなをみな	兵庫	玉手のり子	いろかたち目移り始終牡丹園	兵庫	伊集院秀樹
母の日も子規虚子学ぶをみな達	兵庫	西村みどり	葉桜の庭に芭蕉の句碑ひとつ	兵庫	太平楽太郎
水鏡さ揺らぎの黙若楓	兵庫	足立朱麻	雲も呑み込むかに風の鯉幟	石川	辰巳葉流
漱石の猫や薄暑の記念館	滋賀	近江堇花	夏来るポニーテールの長き脚	兵庫	阿曾宏之
吊橋の直下を過ぎる初燕	奈良	堀ノ内和夫	葉櫻や土方発ちし五稜郭	神奈川	平野孤舟
夏服や口には出さぬ大志あり	愛知	海神瑠珂	病室に見舞ひか昼の揚羽蝶	神奈川	斉藤苑子
九十九折途中休憩山青葉	兵庫	高市敦之	コロッケになる玉葱のみじん切り	兵庫	キートスばんじょうし
本水の零れ溢れて夏芝居	奈良	豚々舎休庵	日溜まりをおほひ常磐木落葉かな	神奈川	金子三奈乃
汀子師を偲ぶよすがの栃の花	兵庫	柄川武子			
転入の児の草笛を独り吹き	兵庫	永沢達明			
跳び石を渡る冒険夏の川	兵庫	藤井啓子			
白塗の稚児練り歩く列薄暑	大阪	石橋玲子			
舟着場どこかが濡れて松落葉	兵庫	二瓶美奈子			
娘のシャンプー借りて立夏の旅つづく	兵庫	岩鼻絹子			
空海展入場待機列薄暑	大阪	田邊育子			
少年の澄みたる眼初鰹	愛知	小野 薫			
一步より百花百彩薔薇香る	兵庫	岩水ひとみ			
山芋の若葉空へと自由かな	京都	杉森大介			
五月闇モディリアニの眼白きまま	兵庫	風待あんぬ			
滝水や落ちて仁淀の青となる	兵庫	福田光博			
また一年されど一年若葉風	兵庫	高倉千都			
雛饗粟を巡らす句碑の佇まひ	石川	辰巳昌彦			
金魚から見ればこの部屋広かろう	兵庫	恵島祥一朗			
主なきまひまひの珠朝日透く	神奈川	小林 心			
北口の柳の下の赤いシャツ	静岡	いたまき芯			
ゆたかなる薔薇園の香に惑はされ	兵庫	田村恵津子			